

田中市長ってこんな人 ～新市長のプロフィール～

- **生年月日** 昭和36年2月14日(61歳)
- **住 所** 愛宕町
- **学 歴** 南小、松倉中、斐太高校、東海大学(文学部北欧文学科)卒
- **職 歴** 大学卒業後、東京都内の商社に勤務。昭和62年に高山市役所に入庁。久々野支所地域振興課長、地域政策課長、企画部長、海外戦略部長を歴任。退職後は、インバウンドなどの観光政策に携わる会社を起業するとともに、飛驒・高山観光コンベンション協会専務理事(8月31日まで)を務める。
- **好きな言葉** Go for it! (目標に突き進む)
- **尊敬する人** 何事にも思いを持って取り組む人全て。そういう人たちの言葉には説得力があり、心が動かされます。
- **趣 味** ギター、三味線、フィットネス、映画鑑賞
好きなアーティストは、井上陽水や吉田拓郎、ビートルズ。高校1年生の時に聞いたビートルズに影響を受けて、英語を勉強するようになり、今では仕事として話せるようになりました。
- **そ の 他** 好きな食べ物はカレーライス。
お笑いが大好きで、好きな芸人はサンドウィッチマン



179センチメートル

● **若者の自主的、主体的な取り組みを支援します**

- まちづくりや地域課題解決のための若者の自主的な活動を支援
- 若者文化を支える仕組みと場を提供
- **有事に強いまちを確立します**
- 市民の命を守ることを最優先
- 災害や疫病の発生、不安定な世界情勢などによる脅威に備える基盤を整備
- 市全体で先進的な防災、減災の取り組みを共有

優しく！

～周りを敬うやさしさ～

- **子どもたちが充実した将来を迎えることができるための教育環境を整えます**
- 子どもたちが将来の夢を持てるように、一流の人やモノに触れる機会を提供
- 教員が独自性を発揮しながら教育を提供するためのきめ細かな教材を提供
- 安全で安心して教育が受けられる環境を整備
- 学校給食の質を改善
- **乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します**
- 助けを求めやすいことのできないような人たちに、寄り添う子育て支援を実現
- 他の事業にも子育ての視点を盛り込む
- 医療費の高校生までの無料化を実現
- **福祉・医療分野への情報通信技術・AIの導入を促します**
- 福祉分野での人材確保のため、福祉関連資格のある人が移り住む動機付けとなるための支援の提供
- 福祉の現場へICTやAIの導入を促すことで働く環境を改善
- 医師が遠隔で診療を行える移動診療車の導入

心地よく！

～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～

- **多様性を尊重し合える社会を構築します**
- 多数の価値観で多数の選択肢を奪わない視点で行政を運営(少数とされている人たちの生活や人生における選択を尊重)
- **住む人と来る人との調和を推進します**
- 国内外を問わず高山に来る人(観光客や移住者など)と、住民との調和を促す
- 住む人と来る人、相互の文化、価値観を分かり合える多文化共生の意識を醸成
- **いつまでも住み続けることができる環境を整備します**
- そこに住み続けたいと思う気持ちを尊重
- あえてコンパクトシティー(生活圏を中心地に集約するまちづくり)を目指さないことに挑戦
- **新しい公共の在り方へ**
- 官民で同じ方向を向き、共に施策を進めていく体質の改善へ!
- 地域単位で小さい成功モデルをたくさんつくり、それらを積み上げて地域全体を底上げする、ポトムアップ型市政をつくる
- **文化・スポーツ・芸術などやりの実現を支援します**
- 地域に住んでいる人の文化、スポーツ、芸術活動を支援
- 早期に野球場とサッカー場を整備
- 計画的に体育・文化施設などの整備を推進